

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

署名提出5.22国会行動



東京の署名を国会議員に託す石村副会長

「国の責任による社会保障制度の拡充、介護保険の改善、75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する」三つの署名の提出集会・国会行動が、5月22日に150人を超える参加で開催されました。

今回の提出行動では、25条署名8万4780筆、75歳2割化反対署名13万3649筆、介護改善署名2万4277筆の合計24万2706筆の署名を国会議員に託しました。（この内東京



からは、25条署名8,708筆、75歳9,555筆を提出)

この行動の前段では、NPO法人医療制度研究会副理事長の本田宏先生が「平成から令和へ、消費税&医療・社会保障改悪どうする」と題して講演を行いました。

署名提出集会では、全労連介護ヘルパーネットや日本高齢期運動連絡会の代表が訴えを行い、東京社保協からは石村副会長（東京土建）が、「けがと弁当は自分持ち」といわれた時代への逆行は許さないと決意表明を行いました。

提出集会には、日本共産党の倉林明子、紙智子両参院議員、清水忠史衆院議員、国民民主党の下條みつ衆院議員があいさつを行いました。

消費税いま上げるべきではない中央集会

幅広い政党・団体・個人の共闘で、10月からの消費税増税を中止に追い込もうと、5月24日に「10月消費税10%ストップネットワーク」主催



の中央集会が日比谷野外音楽堂で開催され、首都圏を中心に1500人が参加しました。

主催者あいさつに立った「10%ストップネット」の呼びかけ人でジャーナリストの斉藤貴男さんが「消費税は常に弱い立場の者がより多く負担する。何一つ良いことをもたらさない消費税増税を市民の

主導でやめさせよう」と訴えました。

主婦連・保団連・全国FC加盟店協会などの10%ネットの呼びかけ人が次々に訴えを行い、政党からは、日本共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の有田芳生副幹事長、国民民主党の日吉雄太国対委員長代理があいさつを行いました。

また、山形・京都など全国で結成されている地域ネットワークの代表や、集会を協賛した消費税10%・複数税率に反対する税理士の会の税理士が「複数税率は百害あって一利なし」と告発しました。

集会終了後、銀座を經由して東京駅までパレードを行いアピールしました。

各地域・団体の取り組み

大田社保協

介護シンポを開催



4月24日、大田社保協は「介護予防・日常生活支援総合事業シンポジウム」を開催し41人が参加しました。

2018年5月に実施した、区内の訪問・通所・居宅介護事業所の500事業所への「総合事業の影響に関する」アンケート結果を報告し実態を交流しました。

野口大田社保協事務局長は、61事業所からの回答をもとに報告。89%の事業所が新総合事業へ参入したが、利用者サービスが以前と比べて「悪くなった」と回答したのは合計で49%、特に訪問介護事業所では57%になりました。利用者の不安や回数制限への不満などの意見が寄せられたと報告しました。「総合事業の修了者がいるか」の設問には、26%の事業所が「いる」と答え、終了者の行先では「自費」36%、「何も利用していない」が43%で多く、絆サービス（住民主体のサービス）は7%と地域資源整備の遅れが浮き彫りになりました。

これを受けて、ケアマネでNPO法人の副代表の入野さんは、「一番の問題は修了者（卒業？）が不利益を受けていること。大田区は当事者の声を活かした基盤整備ができていない」と指摘しました。新婦人の中島さんは、2017年に大田区が発行したガイドブックの不適切な内容を改善させたことを報告。総合事業に移行され「予防介護が無くなり、多摩川の土手を足が痛いのを我慢して歩いている」「地域包括に総合事業移行のフォローを」と訴えたが「職員一人で千人抱えていてとても出来ない」と言われた、と報告。

会場からは、「今までデイサービスに行っていた人を訪ねたら、何処にも行けずに引きこもりになっていた」（ヘルパー）、「小規模なので経営

的にも厳しくいつまで総合事業を受けられるか？だが頑張る」（居宅・訪問介護事業所）、「特養は千人待ち、有料老人ホームは入所に300万円、毎月30万円かかり、徘徊する妻を受け入れてくれる所がない」などの切実な相談が、解決のために区と懇談していく。（菅谷共産党区議）など、参加者から地域の実態が語られました。この実態をもとに区との懇談を予定しています。

（大田社保協 野口修二事務局長）

清瀬社保協



清瀬社保協は5月18日、第23回総会を開催し41人が参加しました。

第1部は、東京社保協寺川事務局長が「社会保障改悪と地域での運動」と題して記念講演を行いました。その内容は、①

アベノミクスで日本はどうなったのか、②憲法から見える社会保障の理念と社会保障制度改革推進法、③国民健康保険が国民皆保険制度の根幹、④悪政の防波堤としての住民福祉を守る自治体に、という内容でした。

特に国保制度改善については、清瀬市でも「国保財政健全化計画」が策定され、来年度から12年間にわたって一般会計からの繰入金6.4億円を解消するというものです。最終年度には、被保険者一人当たり36,000円もの値上げになります。

清瀬社保協として、値上げに反対する運動とともに法定軽減の対象を広げること。子どもの均等割の軽減を第1子（現在第2子以降）から実施させることなどを市に求めていきます。

運動方針では、今年度の重点として①国保税値上げストップ、②特養ホームの建設運動、これらを基本として宣伝・署名運動を行って行くこと。また、対市交渉を更に強め、相談活動をさらに充実させていくことを全体で確認しました。

（清瀬社保協 末永雄三事務局長）

葛飾社保協



なんでも相談会を開催

4月20日、亀有リリオパークにおいて「いのち・暮らし・雇用を守る無料なんでも相談会」を開催し、15団体40人が参加し49人が相談に訪れました。なお、相談の内訳は「債権回収会社から多額の請求がきたが覚えがない」など法律に関わる相談が8件、「既往症があり、通う病院の都合もあり住宅を変えたくないが、区からもっと安い所へ変われと言われた（生保利用者）」などくらしの相談が7件、医療・介護関連が6件、その他住宅・税金などの相談（血压測定含む）が28件でした。

今回の相談の特徴は、一人で複数以上の相談に訪れた人が12人と多かったこと。また、世相を反映した相談（過剰請求書、親族の介護、病気と

住宅、墓探し、お隣とのトラブル、外国人の日本語教室探しなど）も数多く寄せられました。

午後の約5時間の取り組みでしたが、

49人もの相談が寄せられるなど、こうした相談会の取り組みが求められていることを表しており、今後年2回（春・秋）ではなく、規模を小さくして回数を増やすことも検討課題です。

（なんでも相談会報告より）



中野社保協

中野なんでも相談実行委員会は5月23日、通算100回目となる「なんでも相談会」を中野駅北口広場で開催しました。

今回の相談では、医療や健診の相談や相続問題や財産に関わる相談、「収入が18万円で家賃が8万円で生活が大変」など15件の相談が寄せられ、32人のスタッフで対応しました。

（実行委員会ニュースより）



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）
3000円（送料別）
1部500円（送料別）
- 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
- *ホームページからも注文できます



「4の日」宣伝行動



5月14日(火)、巣鴨駅前で「4の日」宣伝行動を、消費税廃止東京各界連と共同で実施しました。また、この行動の前段(11時～12時)では、介護保険改善の署名・宣伝行動も取り组まれました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、社保協と各界連の弁士が交互に訴えを行いました。署名は雨

なので取り組みを控えましたが、「ぜひ署名がしたい」と声がかかるなどの反応がありました。

この行動には、全体で39人、その内東京から26人(土建16人)が参加し、署名付きティッ

各界連キャラバン行動

シュを約2500個配布しました。

東京各界連は、第3波キャラバン宣伝行動を6月7日(金)に実施します。消費税増税問題では、与党の中では様々な動きもありますが、なんとしても消費税10%中止を勝ち取るために、下記日程でキャラバン行動を実施します。各団体・当該地域から参加しましょう。

<実施日、6月7日>

10:50～11:50 北千住駅前、

13:40～14:40 赤羽駅東口

15:40～16:40 大山ハッピーロード

「4の日」定例宣伝行動

- ・6月14日(金)12時～13時
巣鴨駅
- ・9月14日(土)11時～13時
巣鴨地蔵通り商店街入口

主催:東京社保協・中央社保協

滞納差押えホットライン

8月25日(日)10時～
東京労働会館5階会議室

ホットライン実行委員会

PEACEランニング

第24回東京反核平和マラソン 参加費1000円

日時 7月13日(土)

各コース スタート9時半、13時半到着(予定)

- コース**
- ・東コース(夢の島公園)
 - ・西コース(杉並区役所)
 - ・南コース(大田区役所)
 - ・北コース(北区役所)

申込先 ・各コースとも神宮通り公園到着

〒170-0013 豊島区東池袋2-39-2 大住ビル401

新日本スポーツ連盟東京都連盟

電話:03-3981-1345 FAX:03-3981-8315

主催:第24回東京反核マラソン実行委員会